

平成 25 年 6 月 12 日

保 育 課

たかはた保育園機能移転に伴う新年度入園保護者説明会の要旨について

1 開催日時及び開催場所

(1) 開催日時

平成 25 年 5 月 18 日 (土) 10 時～正午 出席人数 20 人

(2) 開催場所 保育室 (らいおん組)

2 市側出席者

子ども部長 大島康二 保育課長 高橋真二 保育課課長補佐 高原洋平

3 菊美会出席者

坂田幸子 三浦みゆき 神崎みづほ

4 配布資料

(1) 次第 (たかはた保育園機能移転に伴う新年度入園保護者説明会について)

(2) 案内図、基本設計図 (配置計画図、平面図、立面図)、進入路拡幅予定図

5 説明会における説明 (要旨) 等について

(1) 平成 26 年 4 月から社会福祉法人菊美会が設置・運営する保育園に移っていただくが、今後、たかはた保育園職員、菊美会の職員、保護者の皆様の協力を得て、子どもへの負担を少なく移行できるよう進めて行く。

(2) たかはた保育園機能移転に伴う新園の園長等について

①新園長 社会福祉法人 菊美会 三浦みゆき

②新園の総主任 社会福祉法人 菊美会 神崎みづほ

(3) 市からの説明 (詳細は別紙「たかはた保育園機能移転に伴う新年度入園保護者説明会について」のとおり)

①たかはた保育園の機能移転に伴う経緯

②移転場所

③新園での定員

④運営法人

⑤移転に向けた検討事項

⑥工事について

⑦予算要求時期について

⑧案内図、基本設計図 (配置計画図、平面図、立面図)、進入路拡幅予定図

6 主な質問及び回答

質問 1 駐車場はどのくらい確保されるのか。

回答 1 現在、菊美会と設計会社と協議している。具体的な台数は決定していないが、ある程度の駐車台数を確保していきたい。

質問2 新園での給食の安全については、どのように考えているのか。西日本の食材を使用する等の配慮は、今後も行なわれるのか。

回答2 保育園給食（公立・民間）の食材については、市場に流通しているものを購入して使用している。納入の際には、産地のほか、品質や鮮度なども確認の上、新鮮で安全なものが子どもたちに提供できるよう努めている。

また、平成24年度に東京都が実施した給食用食材の放射性物質検査において、検査結果は、全ての食材が測定下限値を下回った。

質問3 新園における保育士の構成（新人・ベテランの比率等）はどうなるのか。

回答3 新園において、全ての職員が新人という状況には当然しない。

現在、菊美会は市内に3つ、国分寺に1つ保育園があり、経験豊富な保育士も多い。

例えば、新園の各クラスのリーダー（責任者）には、他園に勤務している経験豊富な職員を回すなど、ベテランと新人の比率を考慮した保育士の構成をしていきたい。

質問4 平成24年度在園児については、カラーキャップ・ベッドマットカバー・延長保育料は、市で負担し、平成25年度に新たに入園した在園児は検討するということだが、平成25年度に新たに入園した在園児も同様な取り扱いにしてほしい。

回答4 平成25年度在園児については、移転する旨の説明を入所申込みの際行っていたが、「延長保育料が変わる等の説明はなかった」との意見をいただいている。

市の説明不足もあるので、検討させてほしい。

予算措置を必要とする事案のため、この場で即答は出来ないが、前向きに検討する。

質問5 同じ法人でも園によってカラーが違う。園によって開催行事も異なると聞く。

新園はどのような保育園になるのか。

回答5 保育園のカラーについては、子どもの人数・施設の大きさ・園庭の有無・地域とのかかわりなど、保育園の規模や立地、保育内容により異なる。

「子どもの成長」という目指すべきところは同じであるが、新園になり保育の仕方が変わることもあるので、今後は保育室・園庭の使い方を含めて検討していく。

子どもの影響を考え、菊美会の伝統保育を保ちつつたかはた保育園の職員と話し合って進めて行く。

菊美会は、例えば歌をうたい、子どもが興味をもったりしたら、次もやってみよう等、「子どもにきっかけを与えてあげられる保育」を心がけている。

行事については、開設後1年については、園児の状況、父兄と相談しながら決定していく。子供や保護者へ無理をさせてまで、行事を実施するようなことはないが地域行事への参加も含め前向きに検討していきたい。

質問6 園名は決まっているのか。たかはた保育園という名称なのか。

回答6 園名はまだ決まっていない。

申し訳ないが、園名は「たかはた保育園」ではない。

質問 7 菊美会の保育園は 18 時に延長保育利用にかかる食事が提供されるが、例えば、18 時 30 分に迎えにいった場合、食事は食べなければいけないのか。

回答 7 新園においては、18 時に夕食を提供します。

質問 8 アレルギーや喘息症状のある子供への影響を考慮し、園医や看護師の継続も考えてほしい。

回答 8 園医については事業主・社会福祉法人の意向もあるため、現時点ではお答えできない。看護師については、保育士の派遣を含め検討する。

質問 9 現在、たかはた保育園にいる臨時職員（朝夕の保育士等）は新園に行くのか。

回答 9 臨時職員については、本人の意向や菊美会での採用基準等に応じて決定する。職員の数には配置基準により公立も民間も同様であるが、配置基準以上の臨時職員の配置数は公立より民間の方が多い。

質問 10 新園への転園後に再度「ならし保育」が必要になると聞いたが、本当なのか。

回答 10 この件は聞いたことがない。今後の話し合いで調整していく。

質問 11 平成 21 年 1 月に土地を返すことが決まっていたのに、なぜ説明会を実施しなかったのか。また、現在の在園児が卒園するまで土地の延長は出来ないのか。

回答 11 説明会については、たかはた保育園の機能を移転する場所・規模等が決定してから説明会を実施する予定であった。場所・規模等が決まっていな中で説明会を開催することが、保護者の混乱を招くと思った。また、高幡不動尊にも迷惑が掛かると思ったが、結果的には保護者の不安につながった。申し訳ない。

たかはた保育園の土地については、昭和 36 年から高幡不動尊から借りている。

市は、平成 3 年度の契約更新に当たって、高幡不動尊側から土地返還の申し出を受けた。その後、3 年更新が 1 年更新となり、最終的に平成 26 年 3 月 31 日をもって土地を返すことにした。20 年以上前から返して欲しいという高幡不動尊にお願いして借りてきた。

質問 12 日野市における待機児童数の推移は。

回答 12 具体的な数字は現在持っていないが、7～8 年前は 100 人以下であった。

現在は待機児童が 100 人以上いる状況である。

待機児童数が発生する要因としては、幼児数に対する出現率、すなわち、保育園に申し込みをする方が増加していることが挙げられる。幼児数がほぼ横ばいで推移しているのに対し、出現率が 7～8 年前は 30％ぐらいであったが、現在は 40％ぐらいである。

質問 13 財政状況が厳しい理由は。また、待機児解消であれば、公立は残して保育園を建設することがより待機児童が減ると思うが。

回答 13 日野市の全体予算は約 530 億であり、そのうち約 54 億は保育園関係の予算。

日野自動車の移転等の影響もあり、市税収入は横ばいである。それに対し、保育園運営や生活保護費などの扶助費だけで約半分の予算となり市税を上回っている。破綻しないためにも工夫が必要である。

子ども 1 人あたりで使うお金は約 100 万円で、現在のたかはた保育園を運営するのに約 2 億円かかる。同規模の民間保育園を運営する場合、国・都からの補助金が得られるため、約 1 億円で運営できる。つまり、公立保育園 1 園分の運営費で、民間保育園を 2 園運営できる計算になる。

日野市としては、在園している児童だけではなく、保育園へ入りたいのに入れていない児童も考慮する必要がある。安心して保育できる環境を確保するためにも、公立を残したまま民間保育園を建設することはできない。

質問 14 廃園が決まっているのに、なぜ新入園児の募集をかけたのか。

回答 14 新入園児の募集停止をかければ、今いる人達も保育園に入れなかったかもしれない。待機児童がいるなかで、募集停止はかけられなかった。

質問 15 菊美会の他園では、土曜日に体操クラブ、絵画等の習い事があると聞いた。

新園でも、このような習い事はカリキュラムに入るのか。

回答 15 体操クラブ、絵画教室等は、菊美会でも一園でしか実施していない。また、これらの習い事は場所を提供しているだけで、体操クラブ・絵画教室と別途契約を行った希望者だけが参加している。

鍵盤ハーモニカ、体育指導等、一部のカリキュラムは新園でも取り入れる予定。ただし、強制的に行うのではなく、子どもたちの状況を見て実施していきます。

6 今回の説明会を踏まえ、今後検討（調整）・確認する予定のもの

- (1) 平成 25 年度に入園した方に対する、カラーキャップ・ベッドマットカバー・延長保育料の取り扱い
- (2) 医療的な継続性の観点から、園医の継続、看護師の派遣